



学習や生活習慣を定着させる5月

扇山小学校長 室 篤 宏

黄金週間も終わり、5月半ばを迎えました。1学期の4か月間の内、5月はちょうど折り返しの月になります。どの学年も4月から進めてきた学習習慣や生活習慣を定着して充実させる月と考えています。各学年の授業の様子を見ると、学習ルールが定着して学習活動が確実に進んできています。また、ご家庭の協力と理解により生活習慣も着実に定着してきています。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

4月と5月の子どもたちの様子を振り返ると、元気よく挨拶ができる子が増えてきていますし、授業にも集中して取り組む姿が見られるようになってきました。また、天気の良い日には、グラウンドで元気に遊ぶ姿も見られるようになりました。今後も「授業が楽しい」「学校に来るのが楽しい」「友達や先生と会うのが楽しい」「こんなことが分かるようになった」「やればできた」ということを一つでも多く実感できるように、教育活動を推進していきたいと考えています。

さて、PTA 総会の時に申し上げたとおり小中学校は、国語や算数などの授業を通して「学び方」の基礎を学び、道徳や特別活動（学級会・児童会活動・クラブ活動・学校行事）での実際の活動を通して「行い方」の基礎を学び、キャリア教育や全ての教育活動を通して「生き方」の基礎を学び、子ども一人一人の自信と意欲につなげて、生涯を通して「人間としてのよりよい生き方」の基礎を身に付けさせる場であると考えます。

そのためには、お子様一人一人の頑張りや集団での頑張りや教師と保護者が的確に捉えて「できたことは大いに誉めて」一人一人の自信につなげることと「失敗したことは、なぜ失敗したのかをしっかりと振り返って次につなげる」励ましが必要になります。学校でも「できたことは大いに誉め、失敗したことは振り返り」を習慣化することで子どもたちに自信と意欲を育てていきたいと考えています。ご家庭でもお子様への「認めと励まし」をよろしくお願いいたします。

更には、お子様の「よりよい成長」のためには、保護者・地域の協力が欠かせません。保護者の皆様をお願いしたいことは「生活習慣の定着」に向けた協力です。生活の基盤となる「早寝・早起き・朝ご飯」の定着や「家庭学習習慣」の定着に向けてご理解とご協力・お子様への声かけをよろしくお願いいたします。また、保護者の皆様のご協力により今年もPTA 行事・夏祭り・ウインターフェスティバルなどを予定していますので、一人でも多くの皆様の協力と参加をよろしくお願いいたします。

扇山小の子どもたちの安心安全を見守るために校区内37町内会のご協力により行われている「子どもネットワーク会議」でも建設的で子どもたちの安心安全を考えたご意見が今年も数多く出されることと思います。5月26日に予定されている第1回子どもネットワーク会議では、3月から今月までの子どもの様子を中心にご意見をいただければと考えています。

最後になりましたが、学校前のカウントダウン看板にあるように2年後の開校120周年に向けて同窓会を中心に準備委員会を立ち上げ計画を立てて行く予定です。本年も9月21日に「同窓の夕べ」を予定しています。賛同される皆様が一人でも多くなることを期待しています。今後とも、子どもたちの「よりよい成長」に向けて保護者・地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。